

しあわせ

阿智村社協だより 2026.1 第149号



©ACHI4165SYAKYO

目標

“誰もが安心して暮らし、
長寿を喜びあえる福祉の村づくり”
“助け合い、支え合い、共に生きる地域づくり”

発行 社会福祉法人 阿智村社会福祉協議会
長野県下伊那郡阿智村駒場483(保健センター内)
TEL 0265-45-1234 FAX 0265-43-2223

印刷 龍共印刷株式会社

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

介護の現場ってどうなっているの？

ふれあいサロンの皆さんが デイサービスセンターを訪問しました

阿智村社会福祉協議会では地域の高齢者等が気軽に集まって体操や趣味活動などを行いながら地域住民相互の交流の促進を図るふれあいサロン活動を実施しています。11月吉日、智里西のササユリサロンの皆さんがデイサービスセンターひだまり（清内路）を訪れ、施設見学とデイサービス利用者と交流し介護について学びました。



参加された皆さんは初めて訪れた介護の現場に興味津々で、職員からの説明や設備見学に関心をもって学ばれていました。その後、施設を利用されている方々とこやかに話し合い、親睦を深め合う場にもなっていました。

参加者の感想から



私が介護される立場になったらどのような施設へ行くようになるのか？色々考えるととても不安に思っていたのですが、丁寧なお話や説明を聴けて快適なお風呂などを見学でき、穏やかなデイサービスの雰囲気にもホッとしました。

デイサービスで昔からの仲良しと久しぶりにお会いしてお話することができて、とても嬉しかったです。利用者の皆さんが生き生きと過ごされている様子を見ることができ、デイサービスっていい所だなと思いました。



ふれあいサロンに集まりましょう♪

阿智村の高齢化率

37.33%

総人口 5,880人

65才以上人口 2,195人

(令和8年1月1日現在)

阿智村では各地域においてふれあいサロン活動を楽しんでいます。地域の仲間とお話をして大声で笑ったり、一緒に体操やレクリエーションに参加して元気に身体を動かすことで心身ともに健康で楽しく過ごしませんか？詳しい内容をご希望の方は下記まで連絡をお待ちしています。

ふれあいサロンお問合せ先 受付時間：(平日) 8:30～17:30

阿智村社会福祉協議会 地域福祉係

TEL：(0265) 45-1234 まで

社協だより「しあわせ」には、皆様からいただいた社協会費を使わせていただいております。

新年会長挨拶

共に生きる地域づくり

会長 小野 恭 志

阿智村社会福祉協議会

新年あけましておめでとうございませう。

皆さまには希望に満ちた新年を、健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、平素は社会福祉協議会の活動に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて昨年は、地球温暖化が叫ばれる中、異常気象に伴う集中豪雨や大規模災害が、国内のみならず世界的規模で発生し、多大な被害をもたらしています。

新型コロナウイルスも5類指定以後も集団発生は収まってきてはいませんが、まだまだ気を抜くことは出来ません。同時にインフルエンザ対策もしなければなりません。村内でも、学級閉鎖や休校等、大変ご苦勞いただきました。

が、現在は速やかな対応により、蔓延防止も出来、落ち着いてまいりました。

さて、少子高齢化、核家族化による家族介護の変化等、さまざまな要因を背景に問われる地域福祉の在り方。社会的孤立・貧困等を背景とする深刻な生活課題の顕在化問題。ライフスタイルの変化に加えて自然災害が多発する中で、それぞれの地域で起こりうる課題に對して、地域の皆さんと共に問題解決に向けて考え、支え合い、助け合う地域コミュニティ形成がさらに重要となります。そして、現場で直接介護・看護に当たる人材確保や処遇改善など、たくさん課題があります。特に人材確保の問題は深刻であります。常態的に職安に募集申請したり、

派遣会社にもお願いしたり、村内の皆様にも機会あるごとにお願ひもしてありますが、なかなか

一気解決とは参りません。行政でも広域的なシステムを構築して頂き、面接会等を実施したり、県としても資格取得のための補助制度も発足して頂いていますが、なかなか思うようになりません。改めて、皆さまのご家庭や、お知り合いの方でお仕事を御探しの方に、「社協で働いては……」とご紹介いただければ幸甚です。

地域福祉の推進役として、さらに住民の皆さまをはじめ、行政や関係機関・ボランティア団体の皆さまとの連携を密にして、住民誰もが安心して暮らすことのできる「共に生きる地域づくり」を目指し、住民参加を

基調として福祉活動を展開し、推進して参りたいと考えています。

本年も、役員・職員一同、皆さまの温かい善意に支えられながら、地域福祉課題に真摯に取り組んで参ります。なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、村民の皆様のご健勝・ご多幸をご祈念申しまして、新年の挨拶とさせていただきます。



地域の命と安全を守るため、住民参加のワークショップ



令和7年度災害ボランティアセンター学習会を12月10日(水)に開催しました

災害が起きた際、お住いの地域にどのような活用できる物があるのか、どのような方々が活躍していただけるのかご存じですか？今回の学習会では長野県社会福祉協議会の山崎博之氏を講師としてお迎えし、それぞれの地域ごとでグループに分かれて、地域の災害時における利用可能な物・人（地域資源）について参加住民に意見を出し合っていました。その後、提案された地域資源をハザードマップに貼っていただき、それぞれのグループごとに発表していただきました。



地図にしてみると一目で地域のどこに何があるのか分かり、より深く災害が起きてしまった時のことをイメージできました。また、各地区の発表を聴いて同じ阿智村でもそれぞれ独自の特性があることを学ぶことができ、とても実のある学習会になりました。

私が知らない地域の資源がこんなにあることに驚きとうれしさを感じました。また、ボランティア活動を円滑に行うためには日頃からの住民同士のコミュニケーションにおける信頼関係づくりが大切であることを学びました。この資源を活かして災害時はボランティア活動に参加していきたいです。



講師の山崎さんからは避難所の運営や災害ボランティア活動を円滑に進めていくためには地域住民の役割がとても重要であり、住民同士が助け合って円滑に災害救助活動が行えるよう、住民がお互いに生活の場の福祉を支えるための地域づくり（地域福祉活動）の大切さを教えていただきました。参加された住民の皆さんは防災への意識や地域貢献への意欲が高まっておられ、地域で活躍していただける「相互扶助の輪」の広がりが確かめられる学習会になりました。

地域福祉活動の推進には、住民の皆さまの主体的な参加が不可欠と言われています。今後とも楽しみながら福祉を学んでいただけるイベントや学習会を企画していきますので、皆さまのご参加をお待ちしています。



社協会費へご協力いただき ありがとうございました!!



昨年8月から10月にかけて、社協会員への加入、会費の納入のご依頼をさせていただきました。多くの皆様にご協力いただき、心より感謝申し上げます。合わせて部落長、組長の皆様方には社協会費の取りまとめにあたり、多大なるご支援、ご協力いただき、ありがとうございました。皆さまより納

入していただきました会費は、福祉車両貸出事業のほか、地域福祉活動における貴重な財源として有効に活用させていただきます。



社協に寄せられた善意

令和7年10月～令和7年12月分

寄付金：	匿名希望	(伍 和)	40,000円
	飯田下伊那理容師会様		10,000円
	阿智村商工会女性部様	(駒 場)	10,000円
物 品：	匿名希望	(駒 場)	衣類、オムツ類
	匿名希望	(伍 和)	タオル類
	匿名希望	(飯田市)	オムツ類
	匿名希望	(伍 和)	ハンカチ類
	匿名希望	(伍 和)	紙パンツ・パット類
	匿名希望	(伍 和)	洗剤類
	匿名希望	(智 里)	簡易ベッド
	匿名希望	(智 里)	プラスチックグローブ類
	匿名希望	(飯田市)	タオル・靴下類
	匿名希望	(浪 合)	紙オムツ類
	匿名希望	(駒 場)	歯ブラシ類



新聞報道によると長野県内では寄付金や寄附物品が物価高の影響で大きく減少しているとの事です。阿智村におきましては地域の皆様のあたたかい善意により、例年通りの物品やフードバンクの寄附をいただきました。社協一同心より感謝を申し上げます。皆様よりいただいた寄附、物品は地域福祉向上の為に大切に活用させていただきます。阿智村社会福祉協議会では随時フードバンク等の寄附を受け付けております、今後とも思いやりのあるご支援をよろしくお願いいたします。